

1. 計画構成の見直しについて

現行計画の課題を解消するため、構成を「災害別」から「災害対応の流れ」に沿った体系へ再編します。

現行計画の課題	見直し内容（変更点）	期待される効果
課題 ① - 震災編と風水害編で重複する内容が多く、「震災編を準用」と記載しているため閲覧性が悪い。 - 内容の重複により計画書のボリュームが膨大に。	変更点 ① 災害種別毎の構成を廃止。 『予防編 ⇒ 応急対策編 ⇒ 復旧復興編』という災害対応の流れにあわせた構成に。	- 重複記載の削減により、閲覧性が向上 - 計画書のページ数を圧縮し、必要な情報に素早く到達可能
課題 ② - 章に対して節が多く、まとまりがない。 - さらに、節の括りや配置に秩序がなく、検索性が悪い。	変更点 ② 分類を分かりやすく整理。 関連性のある区分ごとにまとめることで、目的や内容がひと目で把握できるように見直し。	- 体系化により、検索性が向上 - 必要な情報を見つけやすくなり、実用性・利便性が向上



■越谷市地域防災計画改定概要

2. 上位計画を踏まえた主要改定点

No.	項目	追加内容（概要）
1	 ジェンダー主流をはじめとした多様な視点	ジェンダー主流化や性の多様性の尊重をはじめとした、多様な視点を踏まえた防災対策の推進について追記する。
2	 災害対応業務のデジタル化の推進	AI、IoT、クラウドコンピューティング技術、SNS の活用など、災害対応業務のデジタル化の推進について追記する。
3	 物資の供給体制の整備	新物資システム（B-Plc）を活用し、備蓄物資の最新の状況を把握することを追記する。 また、備蓄状況について、年に1回、広く住民に公表することについても追記する。
4	 避難所外避難者対策	車中泊により避難生活を送る避難者や、在宅避難者に対する支援の充実について追記する。
5	 復興に関する事前の取組の推進	被災後に早期かつ的確に復興まちづくりを行えるよう、事前復興まちづくり計画策定等の復興事前準備に努めることを追記する。



今後の進め方

- 施策の進捗や情報更新、関係者等の意見の反映
- 防災アセスメント結果の反映
- マニュアル編の作成

■越谷市地域防災計画改定概要

3. 今後のスケジュール

